

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	IMM THEATER	階数	地上2F
建設地	東京都文京区	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	793 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2023年8月3日
敷地面積	1,692 m ²	作成者	矢野 諭
建築面積	1,384 m ²	確認日	2023年8月3日
延床面積	1,762 m ²	確認者	矢野 諭

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・東京都文京区に建設される劇場ビルである。 ・周辺の東京ドームシティのにぎわいある雰囲気と調和するような景観・植栽計画に配慮している。		-
Q1 室内環境 ・天井裏も含めてF☆☆☆☆の建築材料を使用し、十分な換気量を確保する等、室内空気質環境を良好に保つための配慮をしている。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・非常用発電機を設置し、災害時の重要系統への電源供給等、災害時の各設備の機能維持について配慮をしている。	Q3 室外環境(敷地内) ・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。 ・高温排熱機器を設置しないことで、温熱環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー ・断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。 ・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。 ・高強度の材料やリサイクル材等を使用することにより、非再生性資源の使用量削減に配慮している。 ・消火剤や発泡剤は汚染物質含有材料の使用を避けた計画としている。	LR3 敷地外環境 ・高効率な設備機器を導入により、CO ₂ 排出量の低減を図り、地球温暖化へ配慮している。 ・周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される